

(文責 住職)

⑥ 住職として、勝林寺の阿弥陀様に喜んでいただけるよう、お念仏に専念しよう。  
以上、雑多な思いをもちながら、年頭にのぞんでおります。皆様のご理解、ご協力をお願ひいたします。

⑤ 出石組組長最後の年として、50年先の親鸞聖人800回大遠忌法要がより盛大に勤められるよう出石組18ヶ寺全員参加の協力呼びかけをしよう。

④ ダーナ理事長として、地域コミュニティーを支える核となり、分水嶺を超えた新しい時代の事業を開拓し、新しい仲間をもつともっと増やそう。

③ 出石高校PTA会長として、泣いても笑つてもこれが最後（なれば）。9回目の会長職を次男（生徒会長）と一緒に心置きなく努め、出石高校が、私のそして息子たちの母校として、孫の代にも「村を育てる教育」の場として存続することに尽力しよう。

② 社会教育委員長として、2025年に今の子どもたちが豊岡に舞い戻りたいと思える地域文化を豊岡市民の皆さんと一緒に育てよう。

① 今年は内町区長として、10年先の弘道校区を乗り切るための新しいコミュニティーづくりに町民の皆さんと一緒にがんばろう。

さて、本年も変わらずお世話になります。よろしくお願ひいたします。年頭にあたり、私たちの新年の抱負をまとめてみました。



# 勝林寺寺報

本年もよろしくお願ひいたします

平成二十七年元旦

寺族

住職 西池 匠紹

坊守 西池 美幸

後住 西池 深音

前住 西池 哲俊

西池 希里

入海 武志 正和

総代役員中島 克哉

玉井 博文

湯口 博文

中嶋 英樹

田中 重雄

永井孝一郎

田中 嘉信

仏社会長足立 幸夫

副会長 永井 正人

坂本 智

会計 保夫

事務局

稻葉 裕

事務局

山田 紀夫

事務局

山田 博文

事務局

齊藤 庄治

仏婦会長岸下 菊美

副会長 宮嶋まゆみ

副会長 渋谷 順子

副会長 湯口 里美

副会長 斎藤きく枝

会計 岩上加代子

事務局 坂本 貢

法輪会代表 世話人

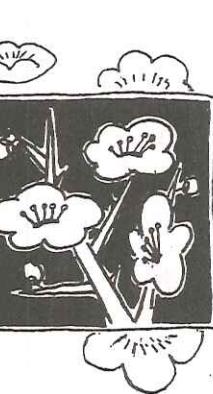
世話人 平野

世話人 瞳美

世話人 嘉子

世話人 大月千鶴子

# 迎春

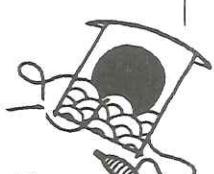


# 祝

# 成人！

めでたく成人式を迎えた、六名の皆様と、今まで天塩にかけてお育てになつたご家族の皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。さやかですが、勝林寺からは、記念に「歎異抄」と腕輪念珠、それに住職からのメッセージを添えて贈らせていただきます。これらからも念仏に照らされた日々を送られることを念じます。

一日(木)	修正会
四日(日)	年始参り (但東町方面)
八日(木)	会計監査
一〇日(土)	斎藤明宏宅 三回忌
一一日(日)	総代会
一二日(月)	坪口(女中講)
一三日(火)	坪口
一四日(水)	和屋・出石
一五日(木)	出石
一六日(金)	出石
一七日(土)	代議委員会
一八日(日)	檀見(女中講) 出石・但東仏教会 (シカバレー見学会) 研修会
一九日(月)	檀見
二〇日(火)	檀見
二二日(水)	仏壯三役会
二三日(金)	出石組三役会
二六日(月)	みのりを聞く会
二八日(水)	仏壯役員



# 月 勝林寺 予定



(敬称略)

葬儀

十二月二十七日

口栗尾 岡野百里子様 八十七歳

## (続)わたしの生きてきた「昭和」

話は前後することになりますが、急に思い出したことがあります。それは、母が死に、弟が死んで、福知山の山寺で住職をしていた叔父夫婦に出石に帰つてもらい、勝林寺の住職と私たち兄弟の第二番目の父母になつてもらつたあの頃だったと思います。亡き母の頃から計画のあつた庫裏の新築で、家族は皆、本堂の余間で仮住まいの荷物に埋もれながら生活をしていました。私はまだ、小学生でしたが、戦地から帰つた兵隊さんの土産という絵葉書(写真だつたかも)を何枚か見たことがあります。日中戦争が始まっていて、中国の町中を拳銃かついだ日本兵が行進する風景、中国人の捕虜たちを壊すの周りに座らせて惨殺する風景、火災の中を志那の婦人が逃げ惑う姿等。戦意高揚のために軍隊から持ち帰つたのでしようが、まだ小学生の私は、大きな衝撃を受けました。それはまだ、中国との戦争の時代でした。

また、こんなことも体験しました。「満蒙開拓移民団」です。出石のある寺の本堂に、軍刀

を構えた軍人や町の役場の課長などが並ぶ中、

その町の成人全員が集められました。「五族協和」の国、「王道樂土」の天地、満州。開拓義勇隊への参加呼びかけの会合でした。日本にあるような差別もない、貧乏もないという呼びかけでした。聴衆はほとんど沈黙していましたが、最後、ある老人が質問しました。「そこにお寺はありますか。」「サーベルを構えた将校が言いました。」「そんなことは知らん。ナンマンダやアーメンなんて関係ない。」やがて、日米間の戦争の悲惨さが増し、そこの村は結局参加しませんでした。近隣の但東町の村では、この勧誘に応じて、田畠を捨て、財産を整理して「移民団」が組織され、満州に渡りました。私の寺の

「門徒も三十軒余りが参加しました。結果、ノモンハン事件・ソ連軍参戦で壊滅。逃避行も行き詰まり、大河に身を沈めて、集団自決。最後にお正信偈を合唱しながら自決したと聞きました」

今でも、八月八日に追悼法要をお勤めし、決して忘れないよう語り継いでいます。政治が生活に困窮する人をたくさん作つて、その人たちを意のままに操ろうとするそんな方式が行われているのではないかと単純な疑問を持つのは、私だけであればと思います。

さて、私は戦時下の日本軍の実態を、わずか一年間であつたがつぶさに身をもつて実感しました。軍隊の現実は、過酷な差別社会。「いじめ」社会でした。東北地方では、兵士の八割が貧農出身であったとか。当時、全国的に生活困窮状態で、軍隊はいわばその脱出口であったといえます。兵隊に行けばなんとか食われる。一般兵士も職業軍人もそんな人が多かつた。し

たがつて、大学生への反発・憎しみは当然といつてよい。羨望というより憎悪感、疎外感。中隊本部に集められて「眠いなら、これを一気に飲め。目が覚めるぞ」と一升瓶の水を飲まされた。将校、下士官は笑いながら見物していた。朝鮮から徴兵された人は、いつまでたつても将来の靴なおし。階級は二等兵のまま。殴られ蹴飛ばされるのが日常でした。その将校・下士官が、敗戦となるや、めぼしい物資をかつさらつて我先に姿を消しました。終戦後、わたしはすぐ大学にもどり、「真宗学」を勉強しました。

戦後の混乱期でほとんど独学のようなありました。先生不在、授業閉鎖の状態の中、それでもこの間わたしは真摯に勉強したと思います。昭和二十三年三月、わたしは大学を卒業しました。悲のはたらきそのものが仏さまであった。(後略)

「門徒も三十軒余りが参加しました。結果、ノモンハン事件・ソ連軍参戦で壊滅。逃避行も行き詰まり、大河に身を沈めて、集団自決。最後にお正信偈を合唱しながら自決したと聞きました」

今でも、八月八日に追悼法要をお勤めし、決して忘れないよう語り継いでいます。政治が生活に困窮する人をたくさん作つて、その人たちを意のままに操ろうとするそんな方式が行われているのではないかと単純な疑問を持つのは、私だけであればと思います。

さて、私は戦時下の日本軍の実態を、わずか一年間であつたがつぶさに身をもつて実感しました。軍隊の現実は、過酷な差別社会。「いじめ」社会でした。東北地方では、兵士の八割が貧農出身であったとか。当時、全国的に生活困窮状態で、軍隊はいわばその脱出口であったといえます。兵隊に行けばなんとか食われる。一般兵士も職業軍人もそんな人が多かつた。し

たがつて、大学生への反発・憎しみは当然といつてよい。羨望というより憎悪感、疎外感。中隊本部に集められて「眠いなら、これを一気に飲め。目が覚めるぞ」と一升瓶の水を飲まされた。将校、下士官は笑いながら見物していた。朝鮮から徴兵された人は、いつまでたつても将来の靴なおし。階級は二等兵のまま。殴られ蹴飛ばされるのが日常でした。その将校・下士官が、敗戦となるや、めぼしい物資をかつさらつて我先に姿を消しました。終戦後、わたしはすぐ大学にもどり、「真宗学」を勉強しました。

戦後の混乱期でほとんど独学のようなあり

## 智慧・慈悲のはたらき

法語カレンダー (H.P.より一部抜粋)

### どすん

第七位 入海 生徒会長になる!  
去年一年間で、家族が最も驚いた出来事でした(笑)(ちゃんとやれていますが、しっかり者の他のメンバーのおかげで、責務を果たしているようです(ほつ))

第六位 希里 大学生になる!  
入試の厳しさに心が折れそうになりながらも踏ん張つて、ようやくたどり着いた将来の夢への第一歩。一人暮らしにもすっかり慣れ、今じやつとも帰つてきません(涙)

第五位 深音 ついに社会人一年生になる!

まつたく土地勘のない東淀川の地での社会福祉のお仕事。案じていましたが、親切な職場の先輩、地域の方々に支えられ、少しずつ自分で道を切り開いていくようです。

第四位 前住職 三人目の曾孫誕生!

一二月一三日、京都に住む長女佐保子の子、里(さと)に三人目の子どもが生まれました。女の子で名前は「優莉(ゆうり)」。暖かくなつたて、顔を見せてくれるのを楽しみにしています

第三位 坊守 増倍になる!

皆さんのお援のおかげで僧侶とならせていただ

きました。ありがとうございました。早速、ご

門徒のおうちの報恩講にもお参りさせていただ

いています。本堂ではお目にかかることが難しくなつた方にもお会いできて、とてもありがた

く思います。僧侶になれよかったです!

第二位 住職 尊敬する信楽先生お淨土へ!

大学の恩師であり人生の師——その存在のおかげ

で、今の住職があるといつても過言ではない存

在でした。「お淨土でまた会おう」合掌

第一位 勝林寺本堂で

弦楽・管楽ミニコンサート!

近田昭夫(東京教区顕真寺前住職)

新年のスタートにあたり、恒例

の「勝林寺七大ニュース2014」

をお届けします。